

新政府石破下ろしに向かい風

寺畠 俊子

「久し振り」「お前誰だ」のクラス会

田中 たづ子

年重ね日に依り痛み異動する

たなか たづこ

としかさねひによりいたみいどうする

坪郷 英美子

つぼこう えみこ

順調に老い行く我に秋の空

じゅんちょうにおいやくわれにあきのそら

藤井 節子

ふじい せつこ

ありがとうその一言に笑顔なる

ありがとうそのひとことにえがおなる

磯部 佳子

いそべ よしこ

しんせいふいしばおろしにむかいかぜ

てらはた としこ

十人のいとこ集ひて栗ご飯

林 保江

はやし やすえ

休日の丸のこの音秋高し

林 美津江

はやし みつえ

稽田を鶏と小犬が鬼ごっこ

馬場 精作

ばば せいさく

爽涼や太鼓の音の澄み渡る

財間 由美子

ざいま ゆみこ

爽やかやコチ大声博多弁

金内 憲一

かねうち けんいち

さわやかやこーちおおごえはかたべん

老いおれば助けられつつ暮らす日の
風車まわる春風つれて

原田 やスエ

やきいもはほくほくなんだおいしいな
二人で分けるともっとほくほく

福田 怜央

手に載せてキャベツを選んで一つ買う
本気で挑む野菜の市場

弘重 和恵

若い日は憎まれ口も叩いたけど
年々縮む母親とのきより

賤間 星

少しづつ季節が動く孟秋の
風に遊ぶや秋桜の花

末永 敦子

おいおればたすけられつかくらすひの
かざぐるままわるはるかぜつれて
やきいもはほくほくなんだおいしいな
ふたりでわけるともっとほくほく
てにのせてキャベツをえらんでひとつかう
ほんきでいどむやさいのいちば
わかいひはにくまれくちもきいたけど
ねんねんちぢむはおやとのきより
ひろしげ かずえ
ざいま せい
すこしづつきせつがうごくもうしゅうの
かぜにあそぶやこすもすのはな
すえなが あつこ

でこぼこ道やわらかい言葉にほっこり

西岡 悅子

コスマスの高さに立ってみる

佐川 智英実

ドカン 空の底が抜けた

岡村 裕司

青田に広がる水いきいきと育てる

田中 律子

細い肩耳のカットは飾りじゃないよ丶の字に

矢田 悅子

にしおか えつこ

でこぼこみちやわらかいことばにほっこり
こすもすのたかさにたってみる

さがわ ちえみ

どかん そらのそこがぬけた

おかむら ひろし

あおたにひろがるみずいきいきとそだてる

たなか りつこ

ほそいかたみみのかつとはかざりじゃないよぶいのじに

やた えつこ